

山梨大学大学院医工農学総合教育部（修士課程）における学位論文評価基準

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準
修士課程	生命医科学専攻	<p>生命医科学専攻における修士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の論文審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文のテーマの設定 論文のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文の論理性 研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文の記述と構成 論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
	看護学専攻	<p>看護学専攻における修士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の論文審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文のテーマの設定 論文のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文の論理性 研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文の記述と構成 論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
	工学専攻 機械工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準	
修士課程	工学専攻	電気電子工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		コンピュータ理工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマが、学術的意義、新規性及びコンピュータ理工学分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		メカトロニクス工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準	
修士課程	工学専攻	土木環境工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究成果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		応用化学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文のテーマが、学術的意義、新規性及び応用化学分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究成果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。</li> <li>論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		先端材料理工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究成果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		流域環境科学特別教育プログラム	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究成果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準	
修士課程	工学専攻	グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論文のテーマが、学術的意義、新規性及びグリーンエネルギー変換工学分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>2. 研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>3. 論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究成果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>4. 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。</li> <li>5. 論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文からの剽窃がないこと。</li> </ol>
	生命環境学専攻	バイオサイエンスコース	<p>生命環境学専攻における修士論文審査は、各コースのディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の審査委員により、以下のような基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題設定：明確な問題意識に基づき、先行研究等を踏まえて適切に課題が設定されていること</li> <li>2. 研究方法：研究目的を達成するための手法が十分検討され、合理性および説得性を有していると同時に、倫理的に適切な配慮がなされていること</li> <li>3. 論理性：研究目的に沿った結論に至るまでの論理展開が一貫性、整合性を保っていること</li> <li>4. 論文構成：論文全体が論理的で明解な文章で記述されており、学術論文として適切であること</li> <li>5. 論文の意義：学術的に新規あるいは独創的な内容を含むか、または社会の要請に応える可能性があること</li> </ol>
		食物・ワイン科学コース	<p>生命環境学専攻における修士論文審査は、各コースのディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の審査委員により、以下のような基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題設定：明確な問題意識に基づき、先行研究等を踏まえて適切に課題が設定されていること</li> <li>2. 研究方法：研究目的を達成するための手法が十分検討され、合理性および説得性を有していると同時に、倫理的に適切な配慮がなされていること</li> <li>3. 論理性：研究目的に沿った結論に至るまでの論理展開が一貫性、整合性を保っていること</li> <li>4. 論文構成：論文全体が論理的で明解な文章で記述されており、学術論文として適切であること</li> <li>5. 論文の意義：学術的に新規あるいは独創的な内容を含むか、または社会の要請に応える可能性があること</li> </ol>
地域環境マネジメントコース	<p>生命環境学専攻における修士論文審査は、各コースのディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の審査委員により、以下のような基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題設定：明確な問題意識に基づき、先行研究等を踏まえて適切に課題が設定されていること</li> <li>2. 研究方法：研究目的を達成するための手法が十分検討され、合理性および説得性を有していると同時に、倫理的に適切な配慮がなされていること</li> <li>3. 論理性：研究目的に沿った結論に至るまでの論理展開が一貫性、整合性を保っていること</li> <li>4. 論文構成：論文全体が論理的で明解な文章で記述されており、学術論文として適切であること</li> <li>5. 論文の意義：学術的に新規あるいは独創的な内容を含むか、または社会の要請に応える可能性があること</li> </ol>		